

# 直江津図書館等整備基本計画案に異論続出

改選後初の市議会文教経済常任委員行われただけで、実質的な審議は次回に持ち越しとなりました。議題は直江津図書館・社会教育館整備基本計画案と株式会社よしかわ杜氏の長期借入金問題です。2件とも重要な案件でしたが、ひとつ目の直江津図書館等の整備計画をめぐって厳しい意見が続出、よしかわ杜氏の郷の借入金問題は説明と若干の質問が



直江津図書館等の整備計画案については、市教委から示された案は6月にホテルセンチュリーイカヤと契約しすぐに基本設計、実施設計に入っていくというものでした。市教委の説明によると2年間「あり方懇談会」で市民の意見を聞いてきたが、「駅周辺での建設」という声が出さ

最初には発言したのは、党議員団の上野公悦議員です。同議員は「新生上越市のまちづくり、直江津の賑い創出という点でも大きな仕事、市民の声を反映させるためには、あまりにも時間がなさすぎる。急ぐべきではない」と主張しました。他の委員からも「初めからイカヤありき」「イカヤの救済という声も聞かれる」「もつと複数の候補地を示して選択肢を広げるべき」「駐車場も足りないがどうするのか」などの発言が続きました。

## 幅広い市民運動の展開で「地域の足」を守ろうと会設立

去る25日、妙高高原ふれあい会館で「妙高と信越本線を考える会」の設立総会が開かれました。北陸新幹線の開通に伴って、住民の足である信越本線がJRから経営分離され、厳しい経営に追い込まれることが予想されるなか、信越本線を「地域の足、地域づくりの要」にしていこうという思いで、幅広い運動を展開していこうというものです。

「長崎本線はJRが経営を存続することになり、政府与党合意に風穴を開けた。広い市民運動でこうした動きを広げること、国・県・JRに責任を負わせることが重要」と問題の本質を明らかにしました。党議員団からは、杉本前市議とひららぎ新市議が参加。ともに手を取り合って市民の足を守っていこうと決意を新たにしました。



【梱包された牧草】異常ともいえる飼料高で酪農家・肥育農家は悲鳴をあげています。こうしたなか、転作田で栽培したイタリアンなどの牧草の刈り取りが市内各地で行われています。自給粗飼料確保などへの支援を強化させたいものです。（写真は柿崎区百木地内で撮影）

総会では、こうした趣旨の設立宣言を採択した後、先行事例に学ぶ講演会などの開催や広く市民に知らせる宣伝・広報活動、そして当局への陳情・請願行動などを盛り込んだ事業計画と予算の確認、代表の選出などが行われました。

代表に選出された岡山紘一郎氏（旧妙高高原町長）は、「党派や立場に関係なく、鉄路を守ろうという一点で多くの皆さんで力を合わせよう」と訴え、記念講演を行った「公共交通を考える富山



## 新人議員向けに予算説明や現地視察

初めて市議になった人を対象にした研修が21日午後から27日まで5日間行われました。（写真は吉川区で撮影）党議員団からは上野、平良木両議員が参加。予算や各種計画の説明を受けた後、市内の主な施設や13区総合事務所などを訪問しました。「資料をもらったので勉強しなければ...」「各区には特徴があつて大変興味深い研修だった」。両議員の感想です。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 134 2008年6月1日

連絡先	橋爪 法一	548-3628	(吉川区代石)
	樋口 良子	544-6802	(中門前3)
	上野 公悦	530-2203	(頸城区中柳町)
	平良木 哲也	525-9096	(上中田)